学校番号	３０４

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ（帝国書院）標準高等地図－地図で読む現代社会（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視聴覚教材の利用、地形図の読図作業や地図帳を読むことや地域の問題を学ぶことで地理的技能の習得をはかる。

2　学習の到達目標

現代社会の地理的な諸課題を地域の環境や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方・考え方を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象や諸課題に興味・関心を持ち、地理学習で得た知識・技能などを現代世界の諸地域で起こっている課題の解決に生かすことができる。	○地理的諸事象を考察し、そこから地理的概念や規則性を見出す。	○地図作業を通して地図にある情報を読み取ることができる。	○地理的諸事象、諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深める。
評価方法	○発問に対して考え、答えさせる。	○授業プリント、復習プリント、作業プリントを提出させ、成果をチェックする。	○地図の着色作業や読図作業をし、その結果をチェックする。	○定期考査を通じて授業で習得した知識や理解度をチェックする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	身近な地図とその特色	・地形図の表すもの、読み方など理解する。	○	○	○	○	a:地形図に対する関心を高め、身近な地形図に興味をもつ。 b:地形図の土地が、どのように形成され、その土地を人間がどのように対応しているかを考える。 c:地形図を読図できるようになる。 d:地形図の読図を通して土地と人間の生活の関連を理解する。	授業プリント・復習プリント・定期考査
	躍動する大地	・地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。 ・内的営力と外的営力の影響を受けて地形は変化し続けるという点を理解する。	○	○	○	○	a:世界の大地形に対する関心を高める。 b:自然環境を形成する地形について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、その家庭や結果を適切に表現している。 c:世界の大地形に関する地図など収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめる。 d:内的営力と外的営力に関する基本的事柄を理解し、知識を身につける。	授業プリント・復習プリント・定期考査
	川が作る地形	・河川がつくる山地や平野の種類や特徴と人間の生活との関係を理解する。	○	○	○	○	a:山地・平野の地形と人間の生活との関係性について感心を高める。 b:　山地・平野の地形と人間の生活との関係性について、日常生活との関連を踏まえて考察する。 c:地形図を読むことで河川が作る山地・平野の地形を読み取り、土地利用についても読み取る。 d:山地・平野の地形と生活の関わりについての基本的知識を身につける。	授業プリント・復習プリント・定期考査

	海岸で見られる地形	・海岸で見られる地形の特徴と、その利用方法や人間の生活との関わりについて理解する。	○	○	○	○	a:海岸の地形と人間の生活の関わりに関心をもつ。 b: 海岸の地形と人間の生活の関わり日常生活の関連を踏まえて考察する。 c:地形図を読むことで、地形を読み取り、土地利用についても読み取る d: 海岸の地形と人間の生活の関わりを理解し、知識を身につける。	授業プリント・復習プリント・定期考査
1学期後半	地域による気候の違いと人々の生活	・気候の特徴と人間生活の関わりについて考察する。	○	○	○	○	a:気候と人間生活の関わりに対する関心をたかめる。 b:自然環境を形成する気候について、地域性や日常生活との関連を踏まえ、多面的・多角的に考察する。 c:大気の大循環の模式図やケッペンの気候区分と分布に関する地図や統計を読み取る。 d:気温・降水量・風などの気候要素や緯度・高度・地形・海流などの気候因子について、基本的事柄を理解し、その知識を身につける。	授業プリント・復習プリント・定期考査
	各気候帯の気候と人々の生活	・各気候区の分布と特徴を理解する。 ・各気候区にはどのような植生や土壌が見られるかを理解する。 ・各気候区に暮らす人々の生活について理解する。	○	○	○	○	a:各気候区と人々の生活に対する関心を高める。 b:各気候区の地域性やそこに暮らす人々の生活を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 c:各気候区の分布や特徴について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、読み取ったり、図表にまとめたりする。 ｄ：各気候区の地域に暮らす人々の生活について、基本的事柄を理解し、そも知識を身に付ける。	

二学期前半	中国	・中国の自然環境の地域差と人口の分布の関連を考察する。 ・巨大な人口を持つ中国の人口問題とその解決への取り組みを理解する。 ・気候と農業の関係と、地域により異なる食文化を理解する。 ・中国の工業化の変遷と「世界の工場」となっていることを理解する。	○	○	○	○	a:中国の自然環境、歴史と社会、産業などについて関心を持つ。 b:中国各地で自然環境の違うこと、産業の課題、社会の格差を多面的に考察する。 c:中国の自然環境についての地図、民族分布の地図、農業分布の地図、などを読み解き、まとめたりする。 d:中国の自然環境、社会構造、産業、抱える問題などについて基本的事柄を理解し、知識を身に付ける	授業プリント・復習プリント・定期考査
二学期後半	ヨーロッパ	・ヨーロッパの自然環境を理解する。 ・ヨーロッパの文化、産業を理解する。 ・ヨーロッパ統合の歩みと課題を理解する。	○	○	○	○	a:ヨーロッパの自然環境、歴史と社会、産業、統合について関心を持つ。 b:ヨーロッパの自然環境の成因、文化、産業の分布、統合の歩みを多面的に考察する。 c:ヨーロッパの自然環境についての地図、民族分布の地図、農業分布の地図、などを読み解き、まとめたりする。 d:ヨーロッパの自然環境、社会構造、産業、抱える問題などについて基本的事柄を理解し、知識を身に付ける	授業プリント・復習プリント・定期考査
三学期	ラテンアメリカ	・ラテンアメリカの自然環境を理解する。 ・ラテンアメリカの人種・民族分布、産業を理解する。	○	○	○	○	a:ラテンアメリカの自然環境、歴史と社会、産業について関心を持つ。 b:ラテンアメリカの自然環境、歴史と文化、産業を多面的に考察する。 c: ラテンアメリカの自然環境についての地図、民族分布の地図、農業分布の地図、などを読み解き、まとめたりする。 d: ラテンアメリカの自然環境、社会構造、産業、抱える問題などについて基本的事柄を理解し、知識を身に付ける	授業プリント・復習プリント・定期考査授業プリント・復習プリント・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。